

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	高崎健康福祉大学
設置者名	学校法人高崎健康福祉大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康福祉学部	医療情報学科	夜・通信	17	6	79	102	13	
	社会福祉学科	夜・通信			135	158	13	
	健康栄養学科	夜・通信			35	58	13	
薬学部	薬学科	夜・通信		7	64.5	88.5	19	
保健医療学部	看護学科	夜・通信		4	100	121	13	
	理学療法学科	夜・通信			105	126	13	
人間発達学部	子ども教育学科	夜・通信		8	149	174	13	
農学部	生物生産学科	夜・通信		4	16	37	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ホームページにてシラバスを pdf 版で公開しており、おなじページに一覧表も添付して公開する。 URL : https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/syllabus</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高崎健康福祉大学
設置者名	学校法人 高崎健康福祉大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>本学ホームページ内の「公表情報」に掲載して公表する。 URL https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	H30/4/1～ R4/3/31	学校法人の運営を全般的に担当しており、民間会社の役員の視点からの意見や指導を期待
非常勤	地方公務員	H30/4/1～ R4/3/31	学校法人の運営を全般的に担当しており、行政職の立場からの意見や指導を期待
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高崎健康福祉大学
設置者名	学校法人高崎健康福祉大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年12月の各学部教授会にて教務委員会よりシラバスの作成を依頼しており、その際ガイドラインや記入要領を提出している。シラバスの作成においては各教員が依頼される前から授業評価アンケートの結果を踏まえた省察を済ませ、次年度向けの授業内容を検討し、新しい制度などの適用により他の科目との連携などに変更が無いかなどを確認しており、2か月程度の締切ではあるが提出について問題はない。また、各学科の教務委員が第3者となって提出されたシラバスの確認を済ませることで本来含めるべき内容などの欠落がないか、チェックされた状態で公開している。 提出・チェックを済ませたシラバスについてはナンバリングの番号に沿って序列化され、学生や関係者が確認する際も分かりやすく提供できるよう配慮している。 シラバスのガイドラインでは各項目に関する記述例や記述いただきたい内容を仔細に記しており、記入者は特段迷うことなく作成できるようになっている。 公表については4月1日現在で本学ホームページにて行っている。	
授業計画書の公表方法	https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学では新たに学修意欲の確認方法として、履修登録済み各授業科目の出席率の確認、また定期試験やレポートの提出についても出席数が開講回数 $\frac{2}{3}$ 以上ないと対象とならず、各授業科目担当教員による報告を受けるなどして多角的に確認を行う。 履修認定については履修登録期間内に所定の手続きを経て学生各自で登録を行う。この際、前学期の成績(GPA)を基に、高い成績を修めた学生には履修登録単位数の上限を増やすことができ、基準に満たない成績の場合はアドバイザーと相談の上履修登録上限数を減らすことができる。 成績評価基準は予めシラバスに記載した方法、1回目の授業で配布したより具体的なシラバスなどを基に教員が学生に説明を実施した方法で行い、成績不振者については再試験制度などを通じて最終的に当該授業科目の成績を受ける。 単位修得にあたっては、学生はホームページにて自身の成績を確認することができる。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学では2010年よりGPA制度を用いた客観的な指標を設定している。また、学生には算出方法について以下のとおり1年次のガイダンスで説明している。</p> <p>学期 GPA = (各科目の修得単位数×GP) 当該学期の合計 / 当該学期の履修登録科目の単位数の合計 累積 GPA = (各科目の修得単位数×GP) の合計 / 履修登録科目の単位数の合計</p> <p>学期ごとに各学科・学年のGPA一覧を作成、学生は自分がどれくらいの位置にいるのかを把握することが出来るようになっている。 成績の分布状況については本学ホームページにて公表を予定している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学科単位で卒業の認定方針(ディプロマ・ポリシー:以下DP)を策定し、1年次のガイダンスにてその内容を説明・周知している。 DPについては以下のホームページにて公表しており、常に確認できる状態にしている。 各学科で毎年定期点検会議を企画、学外評価参画者と教育改善委員(学生)を加えた学科長、教務委員、学生委員、入試委員等で意見交換を実施、アセスメント・ポリシーによる指標を用いて毎年学科内で確認・修正の検討を実施している。 卒業判定の際、公表している当該学年のDPに照らして学位授与方針に則り学位を授与できるか各学科教務委員を中心に確認、卒業判定会議資料へと盛り込む形で判定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	高崎健康福祉大学
設置者名	学校法人高崎健康福祉大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページ内の「公表情報」に計算書類をPDF版で公開している。 URL: https://www.takasaku.ac.jp/guide/information
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページ内の「公表情報」に計算書類をPDF版で公開している。 URL: https://www.takasaku.ac.jp/guide/information
財産目録	本学ホームページ内の「公表情報」に計算書類をPDF版で公開している。 URL: https://www.takasaku.ac.jp/guide/information
事業報告書	本学ホームページ内の「公表情報」に計算書類をPDF版で公開している。 URL: https://www.takasaku.ac.jp/guide/information
監事による監査報告(書)	本学ホームページ内の「公表情報」に計算書類をPDF版で公開している。 URL: https://www.takasaku.ac.jp/guide/information

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称: 学校法人高崎健康福祉大学事業計画書 対象年度: 令和2年度)
公表方法:
中長期計画 (名称: 学校法人高崎健康福祉大学中期計画 対象年度: 令和2年度から令和8年度)
公表方法: 本学ホームページ内の「公表情報」に掲載して公表する。 URL https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 公表方法: 自己点検・評価結果については大学ホームページ「公表情報」にて公開している。 (URL) https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/assessment
--

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：2016（平成 28）年に受審した公益財団法人大学基準協会より、2017 年 4 月から 2024 年 3 月まで適合の結果を得ている。認証評価の結果、学内の自己点検・評価をホームページにて公開している。

(本学 URL) <https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/assessment>

(大学基準協会 URL) https://www.juaa.or.jp/accreditation/university/result_2016.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 健康福祉学部 医療情報学科 (他学科も同様にホームページで公表)
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.takasaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/fa571c40a4915b19b09fbd17ea319923.pdf)
<p>(概要)</p> <p>医療情報学科では、健康・医療に関する専門的知識と先端的情報技術を兼ね備えた健康・医療分野の情報化を担う人材の育成を目的としている。</p> <p>(目標)</p> <p>医療情報学科では、健康・医療に関する専門的知識と先端的情報技術を兼ね備えた健康・医療分野の情報化を担う以下のような能力・資質を備えた人材育成を教育目標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会人としての活躍の基礎となる豊かな人間性と幅広い教養 (2) 健康・医療に関する専門的知識および先端的情報技術を身に付け、それらを用いて健康・医療分野の情報化に貢献する能力 (3) 健康・医療および情報分野に関わる現代社会の諸問題を発見し、分析し、考察し、その解決法を提案する能力 (4) 健康・医療および情報分野で活躍するために必要な、論理的思考法とコミュニケーション能力 (5) 健康・医療および情報分野に関する専門的知識を継続して学修する態度
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/kenfuku/joho/concept)
<p>(概要)</p> <p>医療情報学科では、本学の課程を修め、必修科目を含めた所定の単位を取得した上で、自利利他の精神に則った教養を身につけ、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 豊かな人間性と幅広い教養 社会人としての自利利他の精神に基づく豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、実社会で活躍するための自己管理能力と倫理観を身につけている。 (2) 健康・医療および情報に関する知識・技能 健康・医療に関する専門的知識および先端的情報技術に関する専門的な知識とスキルを修得し、その健全な活用により健康・医療分野を中心とした社会の情報化に貢献するための能力を身につけている。 (3) 問題解決力 健康・医療および情報分野に関わる現代社会の諸問題を発見、分析し、その解決法を提案する能力を身につけている。 (4) コミュニケーションスキル 健康・医療および情報分野で活躍するために必要な、論理的思考法とコミュニケーション能力を身につけている。 (5) 生涯学習力 健康・医療および情報分野に関する専門知識を継続して学習する態度を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：<https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/kenfuku/joho/concept>）

（概要）

I 教育内容

医療情報学科では、卒業認定・学位授与方針に掲げた目標を達成するために、共通教養科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連を示したカリキュラムマップを作成し、カリキュラムの構造を分かり易く明示する。

（1）基礎的な教養や豊かな感受性を培い、より深く人間を理解する能力と国際性を養うために、「共通教養科目」「専門教養科目」「専門導入科目」を設置する。

（2）健康・医療と情報に関する専門的知識を理解するために「専門基幹科目」を設置する。

（3）健康・医療と情報に関する、分析力と問題解決力を養うために「専門展開科目」を設置する。

（4）健康・医療に関する高度な専門的知識と情報に関する先端的な技術を基に論理的思考力を培うために、「応用展開科目」を設置する。

（5）実践的な応用を通じて健康・医療と情報の理解をさらに深め、継続的学修態度を養うために、「応用展開科目」と「卒業研究」を設置する。

II 教育評価

医療情報学科では、学修の達成状況を評価し進級の可否を判断するため、進級要件を設けている。さらに、卒業認定・学位授与に当たり以下に示す卒業要件に基づき、その可否判定を行う。

（1）進級要件

3年次への進級要件：必修4科目以上の単位を未修得の場合には進級を認めない。

4年次への進級要件：必修2科目以上の単位を未修得の場合、または卒業に必要な選択科目に対して4科目以上の単位を未修得の場合には進級を認めない。

（2）卒業要件

必修等の条件を満たしたうえで、124単位の単位取得が卒業を認める条件である。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/kenfuku/joho/concept>）

（概要）

医療情報学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

（1）健康・医療および情報の学修に必要な高等学校レベルの基礎学力を持っている。

（2）人の健康と情報に関心を持っている。

（3）探究心を持って創造的に物事を考えることができる。

（4）積極的に人と交わるコミュニケーション能力を持っている。

（5）持久力を持ち粘り強く課題解決に取り組むことができる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
健康福祉学部	—	22人	13人	15人	4人	10人	64人
薬学部	—	15人	6人	7人	7人	2人	37人
保健医療学部	—	22人	12人	13人	11人	6人	64人
人間発達学部	—	12人	7人	8人	1人	1人	29人
農学部	—	10人	7人	3人	4人	1人	25人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			146人				146人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://research.takasaki-u.ac.jp/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年年2回、法人全体集会終了後に大学教職員を対象としたFD研修講演会を実施、欠席者には録画したDVD上映会などを実施して100%近い出席・参加者としている。また、学部別、大学院FD研修も積極的に実施しており、所属学部以外の教員の参加も受け付けるなどしている。学部によっては教員間で授業参観を受け付けるなどして教授方法の向上に努めている。令和2年度はコロナ禍により対面式のFDは実施せず、学科単位で実施した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
健康福祉学部	210人	239人	113.8%	840人	965人	114.9%	0人	0人
薬学部	90人	95人	105.6%	540人	582人	107.8%	0人	0人
保健医療学部	140人	158人	112.9%	560人	614人	109.6%	0人	0人
人間発達学部	80人	91人	113.8%	320人	352人	110.0%	0人	0人
農学部	100人	70人	70.0%	300人	260人	86.7%	0人	0人
合計	620人	653人	105.3%	2560人	2773人	108.3%	0人	0人
(備考) 編入学定員は各年度の入学定員に欠員が生じた場合欠員分募集することになっている。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
健康福祉学部	202人 (100%)	1人 (0.5%)	194人 (96.0%)	7人 (3.5%)
薬学部	86人 (100%)	2人 (2.3%)	64人 (74.4%)	20人 (23.3%)
保健医療学部	144人 (100%)	4人 (2.8%)	139人 (96.5%)	1人 (0.7%)
人間発達学部	82人 (100%)	0人 (0.0%)	78人 (95.1%)	4人 (4.9%)
農学部	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	514人 (100%)	7人 (1.4%)	475人 (92.4%)	32人 (6.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 農学部は2019年度4月に開設のため、卒業生は2022年度まで0人となります。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
健康福祉学部	222人 (100%)	202人 (91.0%)	5人 (2.3%)	15人 (6.8%)	0人 (0%)
薬学部	98人 (100%)	62人 (63.3%)	28人 (28.6%)	8人 (8.2%)	0人 (0%)
保健医療学部	157人 (100%)	143人 (91.1%)	3人 (1.9%)	11人 (7.0%)	0人 (0%)
人間発達学部	89人 (100%)	82人 (92.1%)	0人 (0%)	7人 (7.9%)	0人 (0%)
農学部	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	566人 (100%)	489人 (86.4%)	36人 (6.4%)	41人 (7.2%)	0人 (0%)
(備考) 農学部は2019年度4月に開設のため卒業生はおりません。薬学部は2015年入学生、健康福祉学部、保健医療学部、人間発達学部は2017年入学生を対象としております。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 各学科・専攻授業科目のシラバス https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information 履修ガイド (刊行物)</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) (ディプロマポリシー、アセスメント・ポリシー) https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/information				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
健康福祉学部	医療情報学科	124 単位	有・無	半期 24 単位
	社会福祉学科	124 単位	有・無	半期 24 単位
	健康栄養学科	124 単位	有・無	半期 24 単位
薬学部	薬学科	192 単位	有・無	半期 24～27 単位
保健医療学部	看護学科	124 単位	有・無	半期 26～33 単位
	理学療法学科	124 単位	有・無	半期 26 単位
人間発達学部	子ども教育学科	124 単位	有・無	半期 24 単位
農学部	生物生産学科	124 単位	有・無	半期 24 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : https://www.takasaki-u.ac.jp/campuslife (キャンパスライフ)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/access (交通手段)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/kenfuku/joho/facility (施設・医療情報学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/kenfuku/fukushi/facility (施設・社会福祉学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/kenfuku/eiyo/facility (施設・健康栄養学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/yakugaku/yaku/facility (施設・薬学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/hoi/kango/facility (施設・看護学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/hoi/rigaku/facility (施設・理学療法学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/ningen/kodomo/facility (施設・子ども教育学科)
: https://www.takasaki-u.ac.jp/faculty/nogaku/seibutsu/facility (施設・生物生産学科)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
健康福祉 学部	医療情報学科	800,000円	280,000円	250,000円	実験実習料、施設設備資金
	社会福祉学科	800,000円	280,000円	250,000円	実験実習料、施設設備資金
	健康栄養学科	880,000円	280,000円	500,000円	実験実習料、施設設備資金
薬学部	薬学科	1,200,000円	280,000円	700,000円	実験実習料、施設設備資金
保健医療 学部	看護学科	900,000円	280,000円	500,000円	実験実習料、施設設備資金
	理学療法学科	900,000円	280,000円	400,000円	実験実習料、施設設備資金
人間発達 学部	子ども教育学科	800,000円	280,000円	250,000円	実験実習料、施設設備資金
農学部	生物生産学科	900,000円	280,000円	400,000円	実験実習料、施設設備資金

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 高崎健康福祉大学奨学金(年額授業料30%相当額給付制度)、高崎健康福祉大学学生支援奨学金(自宅生月額30,000円、自宅外学生月額35,000円無利子貸与)、その他地方自治体等の奨学金を学生に向けて随時紹介、応募多数の場合は学内選考会を設け、規程に則り選定する。 (URL) https://www.takasaki-u.ac.jp/admission/p-admissions/support
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアサポートセンター(以下CSC)職員が随時相談に応じる。また、各学部アドバイザーが担当する学生の相談に応じる。学部によって採用試験や国家試験の対策講座を実施、進学希望者には教員が過去問題や進路相談を実施している。 (URL) https://www.takasaki-u.ac.jp/career
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) キャンパス内に保健師が常駐する保健室が2か所、カウンセラーが常駐しているカウンセリングルームが1か所ある。普段の生活スタイルや学修習慣についてはアドバイザーや学習支援センターでも相談に応じる。 (URL) https://www.takasaki-u.ac.jp/admission/p-admissions/support

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://research.takasaki-u.ac.jp/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F110310101808
学校名	高崎健康福祉大学
設置者名	学校法人 高崎健康福祉大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		265人	251人	274人
内 訳	第Ⅰ区分	128人	134人	
	第Ⅱ区分	86人	64人	
	第Ⅲ区分	51人	53人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				274人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	—		
GPA等が下位4分の1	11人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	15人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。